

「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」の取組事例

二戸市教育委員会「放課後子ども教室推進事業」(岩手県二戸市)

取組事業

放課後子ども教室推進事業

活動実施場所

農村勤労福祉センター、中央小学校、二戸西小学校、石切所公民館、金田一コミュニティセンター、浄法寺小学校

取組概要

【放課後子ども教室推進事業】

「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」の委託を受けて、子どもたちが地域住民やたくさんの仲間たちとふれ合いながら体験・交流のできる居場所の確保を目指し実施する。

◎対象：市内の小学校児童1～6年生

◎内容：開設日は、4月中旬～3月中旬の祝日・年末年始・長期休業期間・各施設の休館日を除く平日。

開設時間は、原則午後3～5時の2時間。(学校の行事や施設の都合等で変更する場合があります)

プログラムは、学習及び集団活動が主体であるが、地域住民と体験・交流活動も行っている。

夏と冬の長期休業期間中には子ども教室利用児童を対象とした体験・交流イベント(体験バスツアー)を実施している。



体験バスツアー

事業成果

【放課後子ども教室推進事業】

・ 地域の貴重な人材である安全管理員による指導のもと、子どもたちの安心できる居場所、また、体験・交流の場として学習及び集団活動を主として実施している。活動内容として、季節の行事やイベントなどに応じたものづくりや遊び等、体験活動を子ども教室ごと取り入れている。どの教室においても学年を越えた交流やコミュニケーションの深まりがみられる。

・ 学校や家庭でなかなか体験できない活動を地域の大人(安全管理員)等と交流しながら行うことにより、子どもたちの社会性の向上や地域の一員としての自覚を促している。また、地域においても地域全体で子どもを育てるという意識が少しずつ生まれてきている。

・ 学校との連携が深まり、よりよい支援や環境の提供ができるようになってきている。

季節の行事等での主なものづくり体験活動	
七夕	・笹を使った七夕飾りづくり
ハロウィン	・色画用紙によるハロウィン飾りづくり
クリスマス	・色画用紙やカミテープを使ってクリスマスリースづくり
その他	・毛糸や糸を使ったミサンガづくり ・毛糸を使った指編みマフラー作り

課題や今後の取組

【課題】

- ・ 体験活動のメニューが乏しく、毎年同じような内容になってしまう。
- ・ 活動に関わる地域の人材(安全管理員等)が不足している。
- ・ 学年により活動時間が異なるため、取組時間に差が出てしまう。
- ・ 児童クラブとの一体型で実施している教室において、さらなる連携した活動を行うための調整を図ること。

【今後の取組】

安全管理員等の指導者向けの研修を案内・提案・企画し、多くの研修機会を設けることで指導者の資質向上につなげ、児童によりよい体験活動や支援を提供できるようにしたい。